

1. 教育目標

医学教育学は、医学・医療教育分野における多面的な課題を究明し、効果的な教育方法を研究する学問領域であり、医学・医療教育を行うための具体的知識やスキルの習得をめざしている。本課程を修了した者は、医療者教育・医学教育学の専門家として、多職種の医療者・教員・医師・学生等を指導する能力を有し、教育システムを自ら構築・改善し、研究を遂行できることを目標とする。

2. 到達目標

- (1) 医学教育技法について概説できる。
- (2) あらたな教育技法の開発に取り組むことができる。
- (3) 生命倫理教育とプロフェッショナリズム教育を概説できる。
- (4) 医療コミュニケーション教育を実施できる。
- (5) 医療安全教育を概説できる。
- (6) 多職種連携教育を運営できる。
- (7) ダイバーシティ教育を概説できる。

3. 成績評価の方法と基準

成績の評価は、本学で定められた「成績の評価基準」に基づき、到達目標に対する達成度及び修得すべき基礎知識・技能の修得度により行う。

口頭試問の実施（20％）

研究成果の発表（50％）

発表・討議の内容（30％）

4. 教科書・参考書

特に定めない。

必要に応じて参考資料等を配布する。

5. 準備学習

定期的に文献を検索し、自分の研究領域に関連する論文を精読しておくこと。

予習として、関連論文の検索、精読に1時間、復習は知識ならびに討議内容を整理すること（30分）。

6. フィードバック方法

当該年度修了時に提出する「研究計画書」、又は「研究進捗・指導状況報告書」によりフィードバックを実施する。

(第1学年・昼間開講)

【医学教育学】

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
演習	研究経過報告と関連論文の抄読	蓮池教育教授、今西准教授 常見准教授、庄司講師	月曜/5限	通年	4	医学教育センター
講義	教育技法	蓮池教育教授 今西准教授	火曜/2限	通年 (月1)	1	医学教育センター
実験研究	医療コミュニケーション	蓮池教育教授 今西准教授	火曜/4-5限	通年	4	医学教育センター
講義	生命倫理と研究者倫理	今西准教授 常見准教授、庄司講師	水曜/5限	通年 (月1)	1	医学教育センター
実験研究	チーム基盤型学習の実践	今西准教授 常見准教授、庄司講師	水曜/4-5限	通年	4	医学教育センター

(第1学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
演習	研究経過報告と関連論文の抄読	蓮池教育教授、今西准教授 常見准教授、庄司講師	月曜/6限	通年	4	医学教育センター
講義	教育技法	蓮池教育教授 今西准教授、庄司講師	火曜/6限	通年 (月1)	1	医学教育センター
講義	生命倫理と研究者倫理	蓮池教育教授 今西准教授、庄司講師	火曜/7限	通年 (月1)	1	医学教育センター
実験研究	医療コミュニケーション	今西准教授 常見准教授、庄司講師	水曜/6-7限	通年	4	医学教育センター
実験研究	チーム基盤型学習の実践	今西准教授 常見准教授、庄司講師	木曜/6-7限	通年	4	医学教育センター

(第2学年・昼間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
演習	研究経過報告と関連論文の抄読	蓮池教育教授、今西准教授 常見准教授、庄司講師	月曜/5限	半年	2	医学教育センター
実験研究	医療安全教育	今西准教授 常見准教授、庄司講師	木曜/4-5限	通年	4	医学教育センター
実験研究	チーム医療教育	蓮池教育教授、今西准教授 常見准教授、庄司講師	金曜/4-5限	通年	4	医学教育センター

(第2学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
演習	研究経過報告と関連論文の抄読	蓮池教育教授、今西准教授 常見准教授、庄司講師	月曜/6限	半年	2	医学教育センター
実験研究	医療安全教育	今西准教授 常見准教授、庄司講師	木曜/6-7限	通年	4	医学教育センター
実験研究	チーム医療教育	蓮池教育教授、今西准教授 常見准教授、庄司講師	金曜/6-7限	通年	4	医学教育センター